

キリンビール 2012年11月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナスとなったものの、定番商品である「淡麗グリーンラベル」「のどごし〈生〉」はプラスとなった。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、プラス。
- 新ジャンル計は、プラス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」は、市場同様にマイナスとなったが、新食感の生ビール「一番搾りフローズン〈生〉」や「一番搾りフローズン〈黒〉」の発売効果もあり、業務用の樽は引き続きプラスで推移。
- ◆「一番搾りスタウト」が単月で対前年約5割増となるなど好調に推移。この冬はビールを温めて楽しむ「ホットスタウト」を飲食店約1,500店で展開予定。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは、プラス。

《新ジャンル》

- ◆7年連続売上げNo.1※1の「のどごし〈生〉」は、プラス。
- ◆また、11月28日に期間限定で発売した「スパークリングホップ」は、初回出荷数量が年間販売目標の約7割となるなど、好調に推移。
※1 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2011年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「本搾り」が大幅プラス着地となり、累月ではプラスで着地するなど好調に推移。

《その他》

- ◆“世界初※2、アルコール0.00%”の「キリンフリー」は、マイナス。引き続き「ゼロハイ」シリーズとともに、ノンアルコール飲料トータルで店頭を盛り上げていく。
※2 ビールテイスト飲料カテゴリーにおける。当社調べ

2. 洋酒販売動向

- ウイスキー計は、一部終売品の影響や、ハイボールブームで高い伸びとなった昨年の裏返しもあり、マイナス。

- ◆「ジョニーウォーカー」は、「プラチナムラベル18年」「ゴールドラベルリザーブ」の発売効果もあり、2割近くのプラス。

以 上